

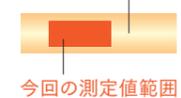
鹿児島県では、川内原子力発電所の運転による影響を調べるため、発電所の試運転開始前から、周辺地域の空間放射線量や、周辺で採取した野菜・水等に含まれる放射性物質の測定を行っています。

空間放射線量の測定

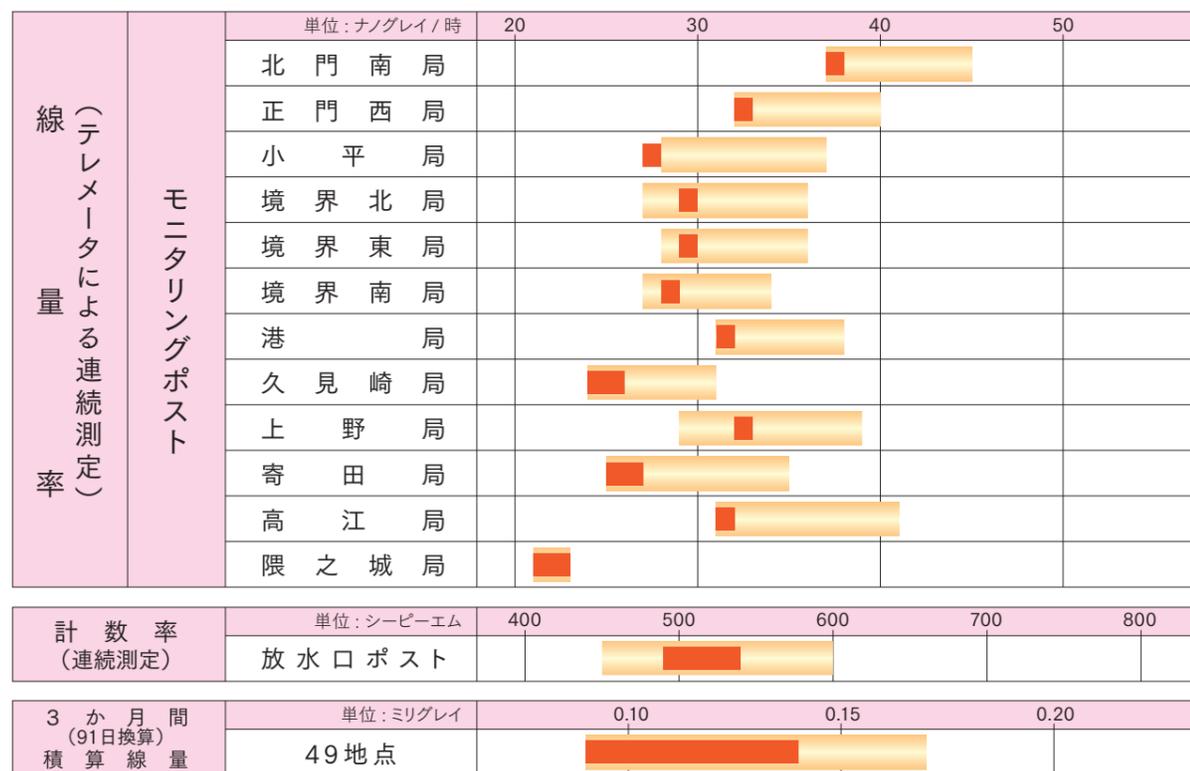
(令和2年4月～6月)

モニタリングポスト(73局)の空間放射線量と、発電所の放水口ポスト(1局)における海水中の放射線量を、テレメータシステムを用いて常時監視しています。また、発電所周辺の49地点において、3か月間の積算線量の測定を行っています。

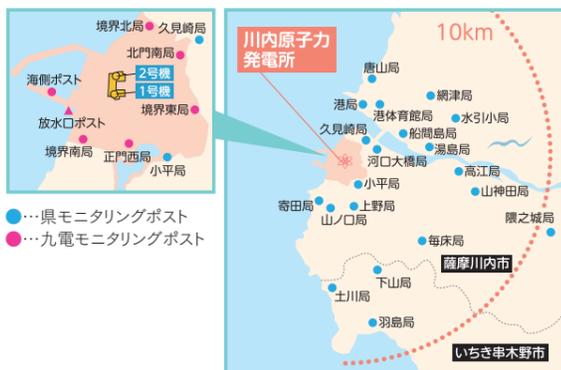
これまでの測定値範囲



今回の調査結果は、これまでの調査結果と比較し、異常は認められませんでした。



川内原子力発電所周辺の測定局



空間放射線量の測定結果については、リアルタイムで県のホームページで公表しています。

鹿児島県 環境放射線テレメータ



川内原子力 発電所



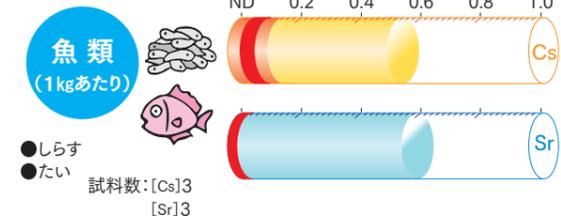
環境試料の放射能分析

(令和2年4月～6月)

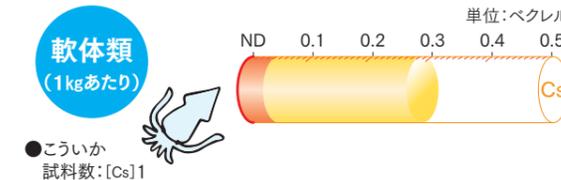
人工の放射性物質であり、環境における蓄積や被ばくの観点から重要なセシウム137, コバルト60, ストロンチウム90, ヨウ素131等について分析しています。今回は海洋試料11試料, 陸上試料34試料, 合計45試料を対象としています。

微量のセシウム137, ストロンチウム90が検出されていますが、これまでの調査結果と比較し、異常は認められませんでした。

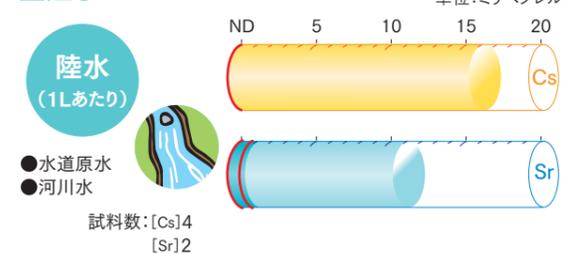
海産生物



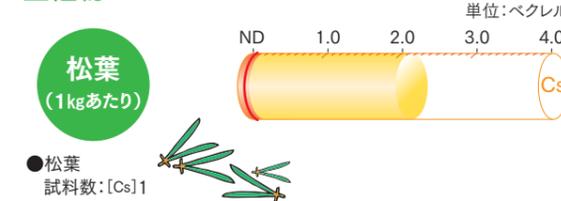
海産生物



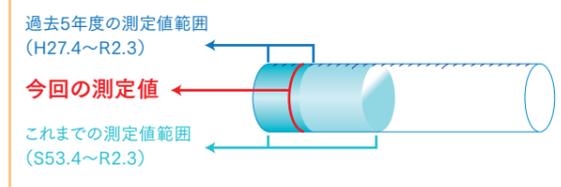
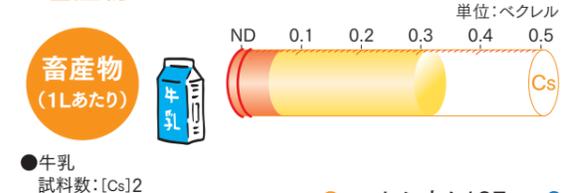
陸水



植物



畜産物



Cs...セシウム137 Sr...ストロンチウム90 ND...検出されなかったことを示します。



今回の調査結果については、県のホームページに掲載しています。

鹿児島県 環境放射線・温排水影響調査結果



令和2年度 第2回 環境放射線モニタリング技術委員会を開催しました

開催日 令和2年10月30日(金)

場所 アートホテル鹿児島

環境放射線調査結果の検討評価にあたっては、学識経験者により構成されている「環境放射線モニタリング技術委員会」の指導・助言を得ています。今回は、令和2年4月～6月の調査結果について評価いただきました。

